



真野中だより

<校訓> 立志力行 協力親和

真野中学校12月号 (492号)
令和4年12月23日発行

教育目標
3つの心

豊かな人間を目指し たくましく生きる生徒の育成
感謝する心 素直な心 努力する心

本当の優しさとは他人に気づかれずにやること

校長 中川 久雄

今週初めの記録的大雪で、佐渡島内一帯が白い綿帽子をかぶり、本格的な冬の到来となりました。

厳しい残暑で始まった2学期も、季節が移り変わり、今日で終業式の日を迎えました。80日間という長期間でしたが、生徒たちに大きな事故や怪我等もなく、無事にこの日を迎えられたことを皆様と共に喜びたいと思います。これもひとえに、生徒たちの頑張りと保護者・地域・関係諸機関の皆様のご理解・ご支援の賜と感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、今や年末の風物詩となっている漫才頂上決戦『M-1グランプリ』の決勝戦が先日開催され、コンビ結成14年目の【ウエストランド】が見事グランプリに輝きました。私が中学生の時も漫才ブームがあり、よくテレビで見っていました。当時も個性豊かな漫才師たちが目白押しで、【B&B】というコンビはその代表格でした。そのコンビのひとり島田洋七さんは、後に『佐賀のがばいばあちゃん』という本を出版し、映画化もされました。今回は、その話の一部を紹介したいと思います。

洋七さんは広島に住んでいたのですが、小学校2年生の時、お母さんと別れ、九州の佐賀県に転校して、おばあさんと一緒に暮らすことになりました。そのおばあさんが『がばいばあちゃん』でした。

『がばい』とは“すごい”という意味だそうです。このおばあさんの何がすごいかというと、全てプラス思考、良い方に考えるのです。貧乏をしていますが、決して不幸だとは思いません。例えば、「今のうちに貧乏しておけ。金持ちになったら、旅行へ行ったり、寿司食ったり、着物を仕立てたり、忙しか。」。「貧乏には二通りある。暗い貧乏と明るい貧乏。うちは明るい貧乏だからよか。」と言うのです。苦勞しても決して辛そうな顔を見せず、いつも気持ちを明るくしようとしています。幸せは、お金で決まるものではなく、心の持ち方、考え方で決まるのだと教えてくれます。

小学校2年生の運動会のできごとでした。洋七さんは、教室で一人おばあさんの作ってくれた梅干し弁当を食べようとしていました。担任の先生が、「ちょっと腹壊してしまって、梅干しとショウガはお腹にいいから弁当取り替えてくれんか。」と頼みに来ました。その弁当は、見たこともないような豪華で美味しそうな弁当でした。運動会での担任の先生の腹痛と弁当交換は、3年の時も4年の時も5年の時も、そしてとうとう6年の時も毎年続きました。

洋七さんが腹痛の意味を知ったのは、6年生になって初めてその話をおばあさんにした時でした。おばあさんは、洋七さんにこう言いました。「それは、先生がわざとしてくれたとよ。」「それが本当の優しさ。お前のために弁当持って来たって言ったら、お前もばあちゃんも気い使うやろ？だから先生は、お腹が痛いから交換しようって言ったとよ。」と教えてくれたそうです。

この本を読んでいると、『がばいばあちゃん』の心の強さと奥深い優しさが伝わってきます。私たちは誰かに感謝されたくて優しくしているわけではありません。その人を大事にしたから優しくするのだと思います。『がばいばあちゃん』がよく言っていたという「本当の優しさとは他人に気づかれずにやること」は、とても大切なことを私たちに教えてくれているのではないのでしょうか。

明日からの冬休みと新年が、このように温かくほっこりするできごとで満たされるようお祈りするとともに、今後も、保護者・地域の皆様方、関係諸機関の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年度 真野中学校生徒会本部役員の決意

令和5年度生徒会本部役員を決めるために、12月8日(木)に立会演説会、投票が行われました。来年度の真野中学校の代表を決める大切な選挙として、どの立候補者もさらに素晴らしい真野中学校にしたいという熱意溢れる演説が行われました。

当選した4名は、12日(月)の生徒朝会で、校長先生から認証書を受け取り、決意を新たにしたことと思います。今後は生徒会本部のメンバーや各専門委員会委員長の委嘱と、来年度の生徒会組織がつくられていきます。学校行事や自治活動にさらに意欲的に活動してほしいと思います。

挑戦すること 新生徒会長

2年 本間 龍之介

新生徒会長になりました。2年A組本間龍之介です。私が生徒会長として行うことは、「一人一人が輝ける学校」にすることです。そのために3つのことを実行します。1つ目はクラスの中で足りないことを話し合う時間を設けます。この活動を通して課題が解決されると思います。2つ目は自分の得意なことを活かして活躍できる行事をつくり、全員が楽しめるものにします。3つ目は現在の校則を今の時代に適した校則に合うように話し合いの場を設けます。みなさんが心地よく過ごすために必要な校則になるよう話し合っていきたいと思っています。

今年の生徒会の良い所を伸ばし、新しいことも取り入れながらより良いものしていきます。生徒会長として全校を引っ張り、支えながら頑張ります。応援よろしくお願いします。



新生徒会副会長としての抱負

2年 細野 我至

私が副会長として行うことは、「協力して高め合える学校」にすることです。そこで、私が実行することは2つあります。

1つ目は、「仲良しこよし大作戦」です。この作戦は、全校生徒の皆さんが仲良しこよしになるという作戦です。具体的には、交流を大切にすることです。校内の交流の機会が増えれば、生徒同士の絆が深まり、互いに協力し高め合える学校になると信じています。2つ目は、「メリハリがあり、活気のある学校を作る」ことです。具体的には、生徒一人一人が時間を守ることや礼儀を大切にすることです。なので、全校生徒が注意し合ったり、お互いに高め合える集団になれるように先頭に立って私が呼びかけます。

「この人を選んで良かった」と思われるような副会長としての活動を責任をもって行います。協力よろしくお願いします。

新生徒会副会長としての抱負

2年 一色 ここな

私の抱負は、「あいさつ」と「先輩後輩との仲の良さを深める」です。あいさつでは、みんなが恥ずかじがらず積極的にあいさつができるようにしたいです。まずは、私がお手本を示します。あいさつの数を増やしていき、やがて全校生徒があいさつができる状態にしたいです。次に、「仲の良さを深める」には、交流すること、つまり、コミュニケーションを増やすことが大事です。部活や委員会でも先輩後輩で協力する活動をしていきます。この活動を行事にも取り入れたいと考えています。私は企画することが好きです。今年の行事をもう少し「交流」にポイントを置いたものに進化させたいと思います。また、私は現副会長の高橋世風さんのような人になりたいと思います。みんなから頼りにされ、尊敬される世風さん。私も「ここなが副会長でよかった」と思われるよう全力で生徒会の仕事に取り組みます。そして、新生徒会本部役員と力を合わせ、龍之介さんを我至さんと一緒にサポートし真野中学校を盛り上げます。

新応援団長として

2年 菊地 悠貴

新応援団長になりました、菊地悠貴です。私が応援団長としてやりたいことは、みんなが来なくなるような楽しい学校にすることです。そのためには、まず全校生徒が安心して過ごせる学校でなければなりません。そのために、次の2つのことを中心に取り組みます。1つ目は、あいさつです。私は、人間関係づくりの第一歩はあいさつだと考えます。ですから、安心して過ごせる学校づくりの第一歩はあいさつだと思います。私は、「自分からあいさつ、目を見てあいさつ、笑顔であいさつ」を応援団長として精一杯頑張ります。2つ目は、朝会での返事と歌声です。全校生徒が安心して返事や歌声を響かせることができる学校になるよう応援団長として先頭に立って声を出していきます。一生懸命頑張るので、皆さんどうぞよろしくお願いします。



皆様、よいお年をお迎えください。来年もよろしくお願いいたします。

真野中学校職員一同

